

ニュース 太陽の鐘 第一号

着工のご挨拶・概要のご紹介

中央地区・広瀬川周辺にお住まいの皆さま、こんにちは。前橋市役所未来の芽創造課・公園緑地課です。このたび、9月定例市議会におきまして補正予算が承認され、いよいよ今月より太陽の鐘設置に向けた工事着手となる運びとなりました。この「太陽の鐘ニュース」は、来春のオープン(予定)まで、工事進捗などをお伝えすると共に、岡本太郎ゆかりの方によるコラムなどを通して、今回のプロジェクトを広く周辺の皆さんに知っていただくことを目的に、随時発行してまいります。



(太陽の鐘) (1966年)

1966年に日本通運株式が静岡県内に開設したレジャー施設「伊豆富士見ランド」のシンボルとして設置され、1999年まで設置されていた。鐘の直径約1.2m、高さ約2.4m。鐘を吊るす台(高さ約6m)と一体の作品。岡本太郎作品のうち、「梵鐘」としては2作品ある。

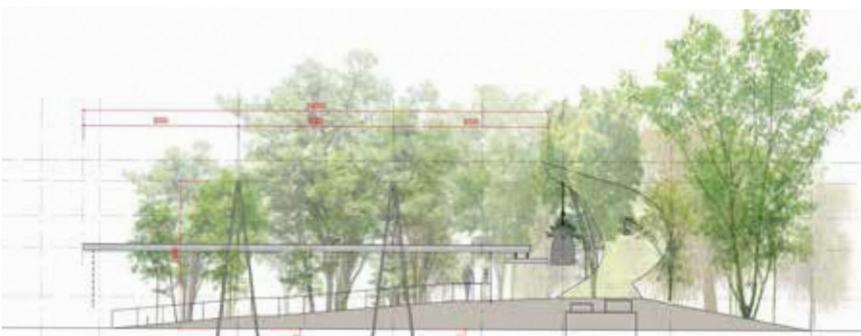
作品コンセプト

周辺整備デザイン担当：藤本 壮介
(建築家)

岡本太郎の眠っていた重要な作品「太陽の鐘」。この作品が持つ生命力からインスピレーションを得て、前橋のビジョン「めぶく。」を体現するような場所になって欲しいという思いから、この提案が生まれました。

前橋の大地に眠っていたエネルギーが、太陽の鐘に呼応して目覚め、前橋の地を盛り上げていく。隆起した大地には樹木が生い茂り、太陽の鐘は森の中に包み込まれます。時の経過とともに、太陽の鐘自身もツタで覆われて、はるか昔から未来へ向けてこの場所に存在したかのような姿となるはずです。

太郎の鐘に対峙し、この森全体を響かせるという意図から、森そのものを貫くような大きな撞木を構想しました。太陽の鐘が、前橋の地に深く根ざしながら、未来へと繋がっていくことを願っています。



【設置箇所】広瀬川河畔(右岸・諏訪橋下流)

岡本太郎作品との親和性や、先行して「広瀬川河畔再整備」の構想があること、前橋文学館やアーツ前橋といった文化的な核としてのエリアであり回遊性の向上が期待できることなどを総合的に検討し、広瀬川河畔への設置が本市にとって有益であると考え、今回の場所を選定するに至ったものです。

【工事スケジュール】 ※いずれも予定となります。

基礎工事：
平成29年10月中旬～平成29年12月下旬
鐘およびモニュメント設置工事：
平成30年1月上旬～平成30年1月下旬
植栽工事：
平成29年12月上旬～平成30年3月下旬



《明日の神話》(1969年)

太陽の鐘
ニュース

Taro
Public Art

COLUMN 01

岡本太郎とパブリック・アート

春原 史寛 (群馬大学教育学部准教授 / 岡本太郎研究者)

大阪万博で制作された《太陽の塔》(1970年)などの代表作で知られる、20世紀の日本を代表する芸術家・岡本太郎(1911~96年)は、没後に今日に至るまでたびかさなる再評価が行われ、「太郎ブーム」と呼ぶべき注目を生み出しています。

岡本が目指したのは、社会のなかで一般の人々と芸術を結びつけ、多くの人々が芸術によってより充実した人生を送ることでした。そのために岡本は、絵画・彫刻・陶芸・建築・デザイン・パフォーマンス・著作や雑誌新聞などでの著述・民族学・美術教育・テレビやラジオへの出演・料理・スポーツなど、様々な活動を繰り広げ、そのような社会と芸術の多数の接点で、芸術の意義を実感できるように伝え続けました。

そんな岡本が非常に重視した活動がパブリック・アートの制作、すなわち街中や駅などの公共の空間に設置され、誰もが無料でいつでも楽しむことのできる壁画やモニュメントなどの芸術のあり方です。一部の限られた人々が私的に独占するのではなく、日常のありふれた光景の中で気軽に触れることのできる芸術こそ岡本が示そうとしたものでした。岡本のパブリック・アートは東京銀座・数寄屋橋にある《若い時計台》(1966年)や、東京・渋谷駅に設置された《明日の神話》(1969年)をはじめ、今日でも日本全国で見ることができます。

来春、広瀬川河畔に設置予定の《太陽の鐘》も岡本の代表的なパブリック・アートの一つです。「梵鐘」という外見は一見とつきにくいのですが、一目見ただけで「理解」して終わってしまうのではなく、何度出会っても「なんだこれは」と思わせ考えさせる作品で、見るたびに表情を変え、毎日の見え方や作品と見る人の関係性の積み重なりで、いつのまにか元気づけられ自分たちの日常のあり方が少し変わるきっかけになるかもしれない、そんな芸術が岡本のパブリック・アートです。



《太陽の塔》(1970年)



《若い時計台》(1966年)

岡本太郎と語る会のご案内

一般社団法人 前橋まちなかエージェンシーでは、岡本太郎を知るための座談会を行っています。芸術家という枠に捉われなかった岡本太郎という人間の多面性を、毎回テーマを絞って楽しくカジュアルに語り合います。是非お気軽にご参加ください。



岡本太郎と語る会 01 岡本太郎と太陽の鐘

日時	2017/10/29 13:30-15:30	参加費	無料
場所	前橋まちなか研究室(前橋市本町1-2-9)		
定員	20名から30名程度 参加申込不要		
主催	MMA(一般社団法人 前橋まちなかエージェンシー)		

お問い合わせは、info@machinaka.agency
(一般社団法人 前橋まちなかエージェンシー)まで